

第1次総社市総合計画

後期基本計画

資料編



第1次総社市総合計画 後期基本計画策定の経過

年月日	内容
平成21年4月21日	総社市企画担当員を指名
7月10日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（昭和公民館）
7月17日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（東公民館）
7月21日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（総合福祉センター）
7月22日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（西公民館）
7月23日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（清音公民館）
7月28日	ガラス張り公開市長室で意見聴取（山手公民館）
12月1日	総社市総合計画審議会委員の委嘱
12月22日	第1回総社市総合計画審議会の開催
平成22年1月8日～25日	市民アンケートの実施（住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の3,000人を対象）
2月25日	各課とのヒアリング
2月26日	各課とのヒアリング
3月15日	市長、教育長へのヒアリング
3月16日	各課とのヒアリング
3月17日	各課とのヒアリング
6月1日	市民団体懇談会で意見聴取（商工観光・農業・市民・環境分野23団体）
6月2日	市民団体懇談会で意見聴取（スポーツ・ボランティア・医療・福祉分野35団体）
8月2日	岡山県立大学との懇談会で意見聴取
9月6日	第1回総社市企画担当員会議開催
10月12日	総務文教委員会で後期基本計画（素案）の協議
10月13日	岡山県と協議開始
11月1日	第2回総社市総合計画審議会の開催（諮問）
11月19日	岡山県協議完了
11月24日	第3回総社市総合計画審議会の開催
11月25日	総務文教委員会で後期基本計画（素案）の協議
12月16日	第2回総社市企画担当員会議開催
12月21日	第4回総社市総合計画審議会の開催
平成23年1月5日～24日	パブリックコメント実施（市役所、山手支所、清音支所、北出張所、西出張所、昭和出張所）
1月28日	総社市総合計画審議会から後期基本計画（案）の答申
2月8日	総務文教委員会で後期基本計画（案）の報告
3月17日	市議会全員協議会で後期基本計画（案）の報告
3月22日	後期基本計画の策定
3月31日	岡山県知事へ報告及び公表

市民が求める総社市の姿

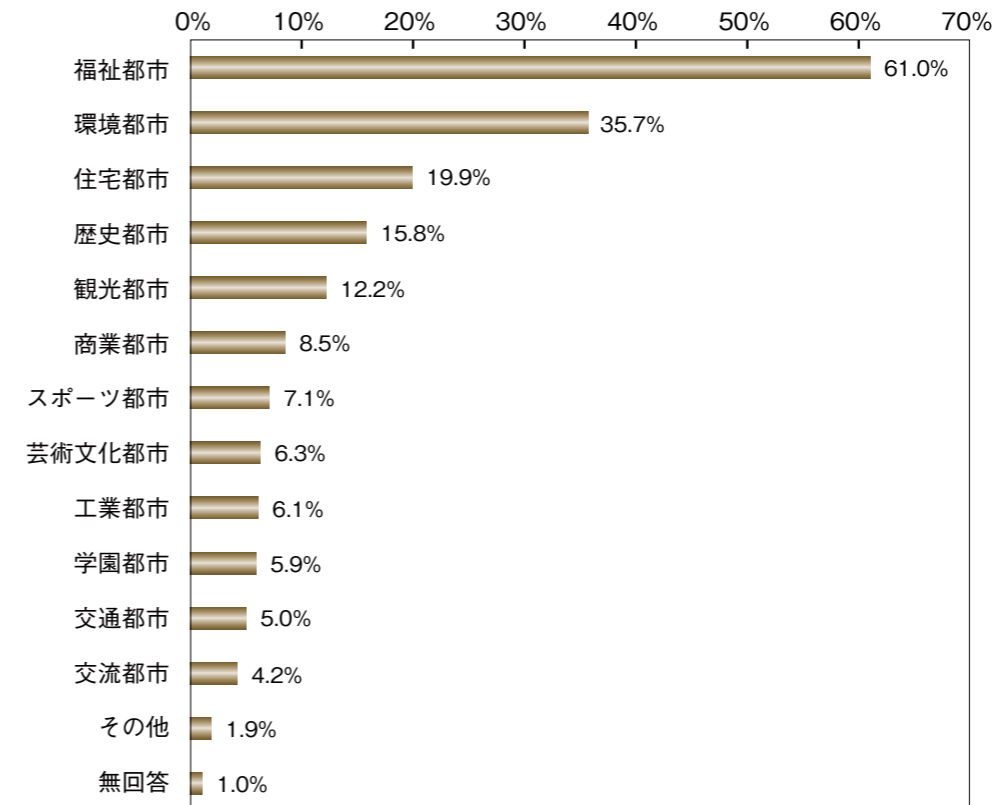
1. 調査目的・対象・方法

市民アンケート調査は、本市の将来イメージなどの“まちづくり”に関する意向を把握し、総合計画後期基本計画策定の資料とすることを目的として、平成22年1月に市内在住の18歳以上の方から、無作為抽出した3,000人を対象に実施したものです。
調査票回収数は1,415件、回答率は47.2%でした。

2. 調査結果の概要

1) 将来都市像

市民のみなさんが望まれている本市の将来都市像は、「福祉都市…福祉施設や制度が充実しているまち（61.0%）」が最も多く、次いで「環境都市…田園が広がり、自然環境を大切にしたまち（35.7%）」、「住宅都市…都市基盤が充実し、優れた居住環境を持つまち（19.9%）」となっています。

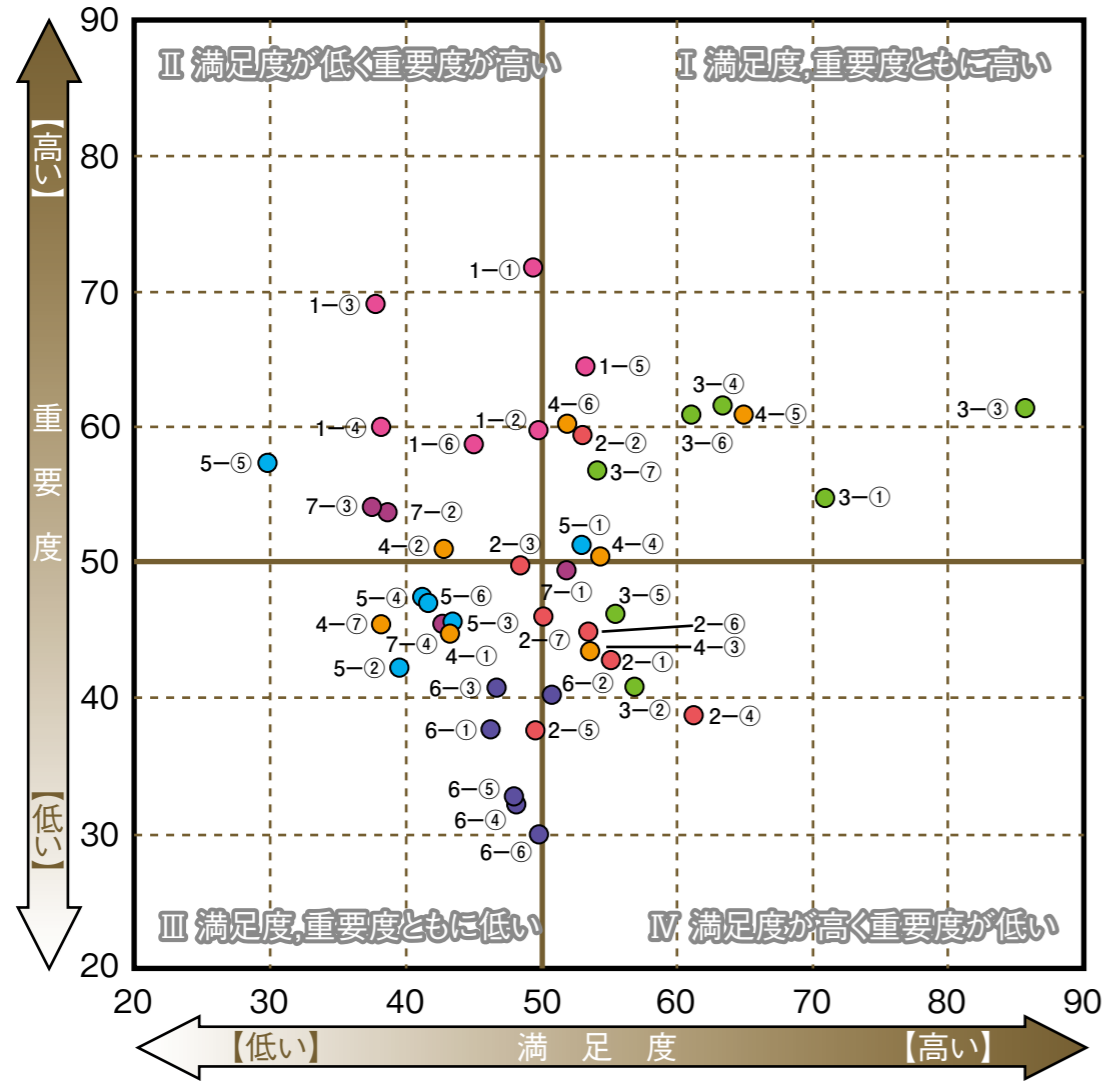


※複数回答のため、合計値は100%を超えています。

2) 生活環境や行政サービスの満足度と重要度

生活環境や行政サービスの「現在の満足度」の偏差値を横軸に、「今後の生活にとっての重要度」の偏差値を縦軸にとって、各分野における取組の優先度を分析しました。

この結果をみると、「保健・医療」、「高齢者福祉」、「地域福祉」、「障がい者福祉」等の保健・医療・福祉分野や「勤労者福祉・雇用対策」、「行政改革の推進」、「自立した財政運営の推進」等が、満足度が低く、重要度が高くなっていることから、重点的に強化を図ることが望まれると考えられます。



1 医療・福祉等	①保健・医療	3 快適環境	①自然環境・歴史的景観	5 産業	①農林業
	②地域福祉		②住宅		②商業
	③高齢者福祉		③上水道・水資源		③工業
	④障がい者福祉		④下水道		④観光
	⑤子育て支援		⑤公園・緑地		⑤勤労者福祉・雇用対策
	⑥社会保障		⑥資源循環型社会		⑥消費者対策
2 教育・文化等	①生涯学習		⑦環境保全	6 市民参画	①市民のまちづくり意識
	②学校教育・幼児教育	①土地利用・市街地整備	②地域コミュニティ		
	③青少年の健全育成	②道路・交通網	③ボランティア		
	④スポーツ・レクリエーション	③情報通信	④男女共同参画社会		
	⑤芸術・文化	④治山・治水・砂防	⑤ふれあい交流		
	⑥文化財	⑤消防・防災など	⑥岡山県立大学との交流		
	⑦人権意識	⑥防犯・交通安全	7 行政	①市民参加の推進	
	⑦辺地対策	②行政改革の推進			
			③効率的で持続可能な財政運営の推進		
			④広域連携の推進		

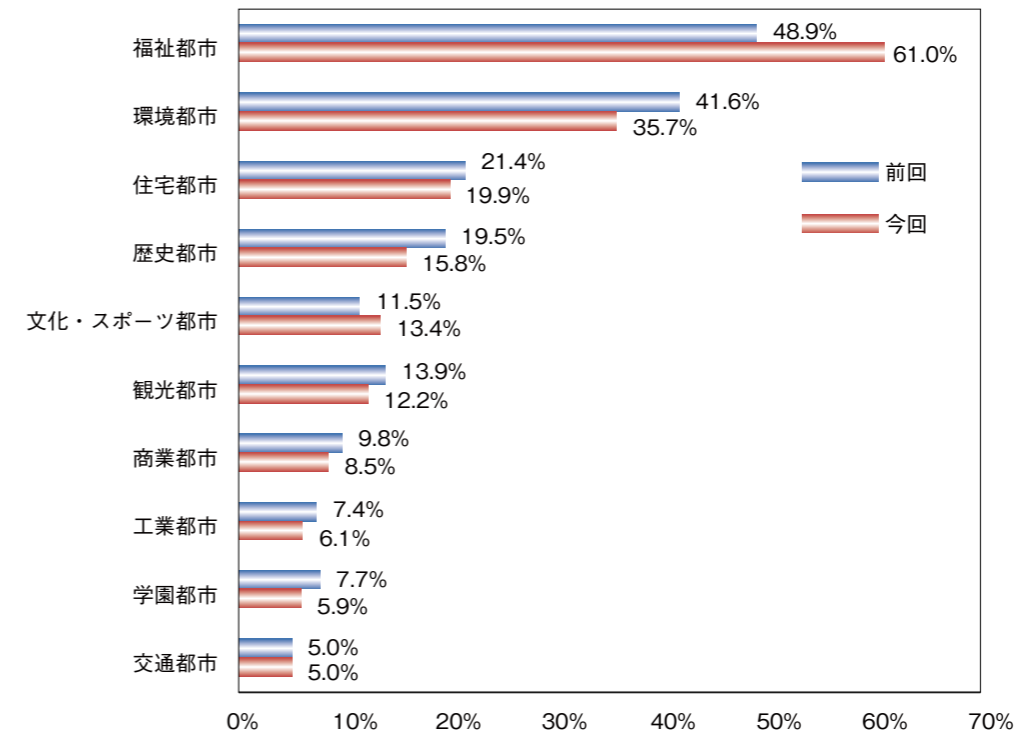
3. 前回調査との比較

総合計画基本構想及び前期基本計画の策定に際し、平成17年9月に実施された前回の市民アンケート調査結果と今回の調査結果の比較を以下に掲載します。（比率はすべてパーセントで示し、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合があります。）

1) 将来都市像

市民のみなさんが望まれている“本市の将来都市像”は、前回調査においても今回の調査結果と同様に「福祉都市…福祉施設や制度が充実しているまち（48.9%）」が最も多く、次いで「環境都市…田園が広がり、自然環境を大切にしたいまち（41.6%）」、「住宅都市…都市基盤が充実し、優れた居住環境を持つまち（21.4%）」となっています。

ただし、「福祉都市…福祉施設や制度が充実しているまち」は、前回（48.9%）から12.1ポイント上昇した61.0%となっており、福祉分野に対する市民のみなさんの関心が高まっていることがうかがえます。

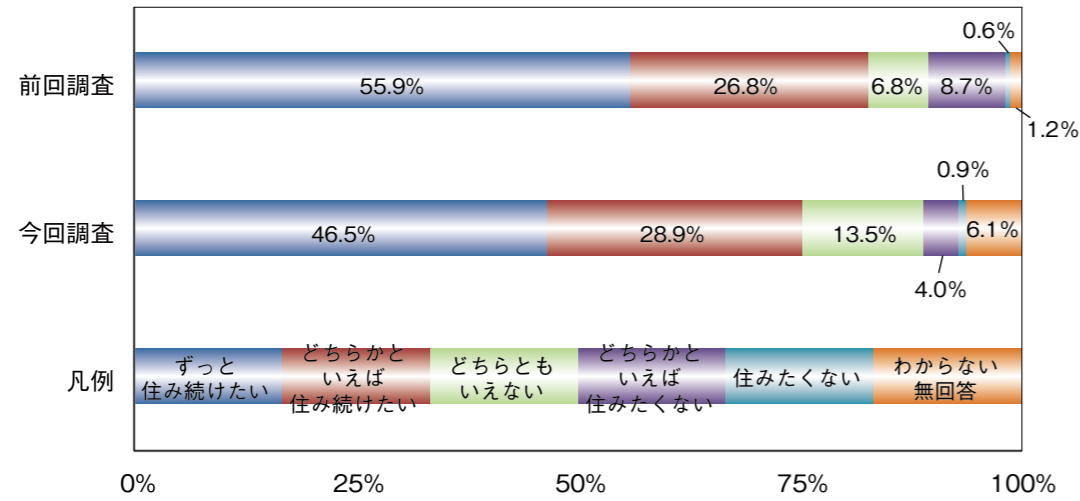


※複数回答のため、合計値は100%を超えています。
 ※前回調査と今回調査において共通する選択肢を比較しています。
 なお、前回調査の選択肢に合わせるため、今回調査の選択肢のうち「スポーツ都市」と「芸術文化都市」を合算して「文化・スポーツ都市」としています。

2) 居住意向

市民のみなさんの“今後の居住意向”は、両調査とも「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた肯定的回答が過半数を占めていますが、肯定的回答の割合は、前回調査（82.7%）から7.3ポイント減の75.4%となっています。

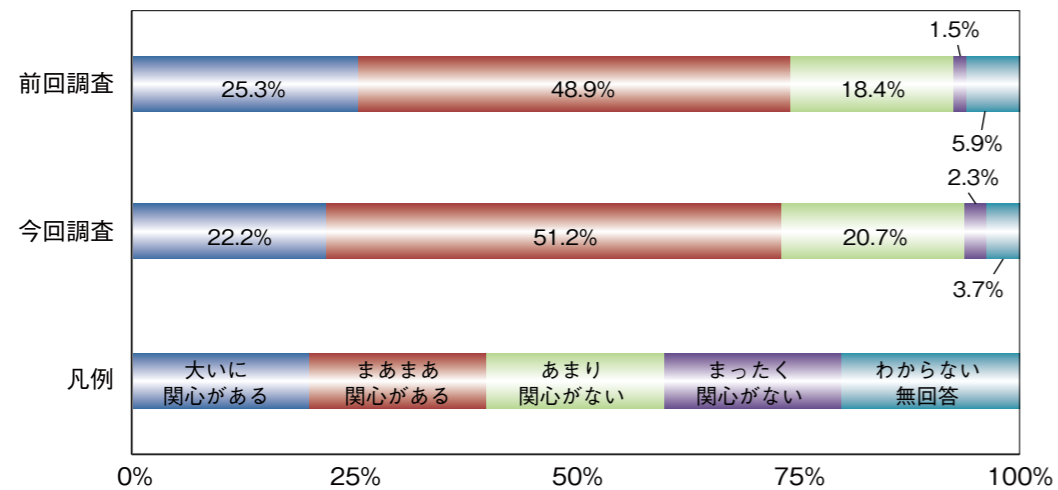
ただし、「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた否定的回答の割合も前回（9.3%）から4.4ポイント減の4.9%であるほか、「わからない・無回答」が前回（1.2%）から4.9ポイント増の6.1%になっていることから、相対的に大きな変化は生じていないと考えられます。



3) 市政への関心

市民のみなさんの“市政への関心”は、両調査とも「おおいに関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた肯定的回答が過半数を占めています。

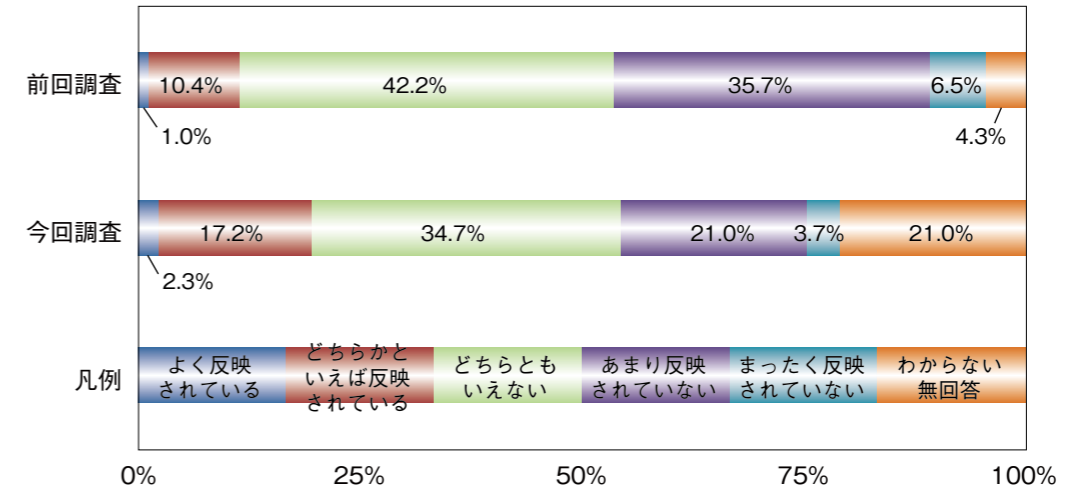
肯定的回答の割合は、前回調査（74.2%）から0.8ポイント減の73.4%、否定的回答の割合は、前回調査（19.9%）から3.1ポイント増の23.0%となっており、大きな変化は生じていません。



4) 市政への市民の意見の反映

市民のみなさんの“意見が市政に反映されているか”については、両調査とも「あまり反映されていない」と「まったく反映されていない」を合わせた否定的回答が過半数を占めています。

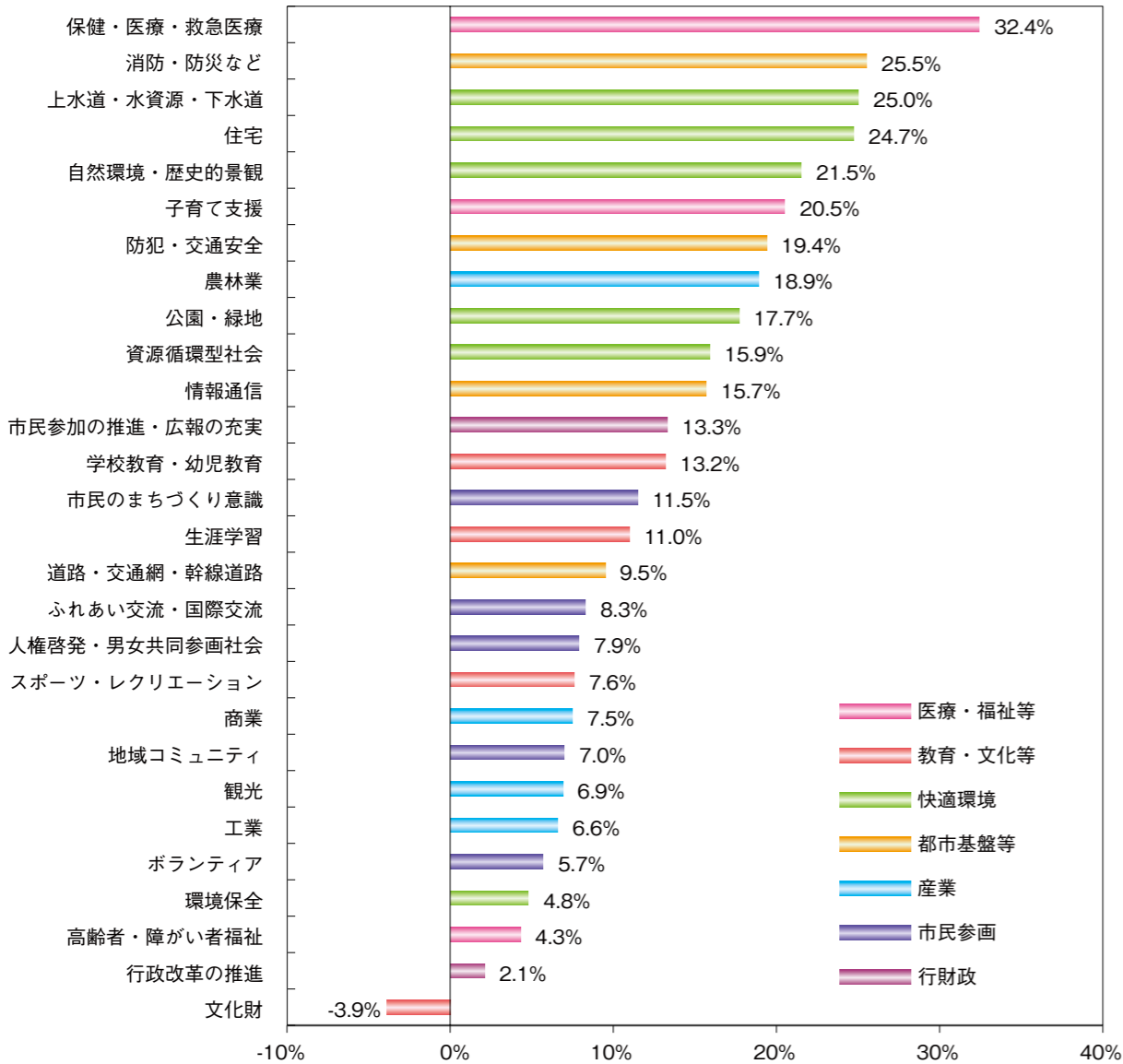
ただし、肯定的回答の割合が、前回調査（11.4%）から8.1ポイント増の19.5%、否定的回答の割合は、前回調査（42.2%）から17.5ポイント減の24.7%となっており、前回の調査結果と比較して改善がみられます。



5) 現状評価

市民のみなさんの“生活環境や行政サービスの満足度”について、「満足」と「まあ満足」を合わせた肯定的回答の割合の変化を比較すると、ほぼすべての項目において前回調査を上回る結果となっています。

それぞれの項目の変化をみると、「保健・医療・救急医療」が32.4ポイント増と最も大きく上昇しているほか、「上水道・水資源・下水道（25.0ポイント増）」や「住宅（24.7ポイント増）」、「自然環境・歴史的景観（21.5ポイント増）」といった快適環境の分野において、肯定的回答の割合が大きく上昇しています。



※前回調査と今回調査において共通する選択肢を比較しています。
なお、前回調査の選択肢に合わせるため、今回調査の選択肢のうち「上水道・水資源」と「下水道」を合算して「上水道・水資源・下水道」、「高齢者福祉」と「障がい者福祉」を合算して「高齢者・障がい者福祉」としています。

企 第 42 号
平成22年11月1日

総社市総合計画審議会
会長 清水 男 様

総社市長 片岡 聡 一 印

第1次総社市総合計画後期基本計画について（諮問）

別添の第1次総社市総合計画後期基本計画について、貴審議会の意見を求めます。

総社市総合計画審議会委員名簿

平成23年1月28日

総社市長 片岡 聡 一 様

総社市総合計画審議会
会長 清水 男 ㊟

第1次総社市総合計画後期基本計画について（答申）

平成22年11月1日付け 企第42号で諮問のあった第1次総社市総合計画後期基本計画について、当審議会において素案をもとに慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり、後期基本計画（案）として答申します。

なお、本計画の実施にあたっては、本審議会の審議経過を十分踏まえ、特に次の点について格別の配慮をされるよう申し添えます。

記

- 基本構想の将来都市像である「地域・文化・自然が支えるところ豊かな生活交流都市」の実現に向けて、人と人の絆、地域と地域の絆を深めるためには、活発な交流が必要です。移動手段としての地域公共交通の充実を図るとともに、交流機会の創出、住民自治組織の活性化、NPO・ボランティア団体の育成に努めてください。
- 市民アンケートの結果、「福祉都市」を目指す市民の割合が最も多いことから、福祉都市実現に寄せる期待の高さが伺えます。こうしたことから、総合的な子育て支援策である「子育て王国 そうじゃ」の取組を発展継承させるとともに、高齢者が生きがいをもって一日でも長くいきいきと暮らせるよう、保健・医療・福祉の更なる充実に努めてください。さらに、障がい者が地域で自立した生活を安心して送れるよう、在宅サービス・就労支援等に取り組まれることを希望します。
- 多様化、高度化かつ専門化した市民の行政ニーズに的確に対応するためには、人材育成に取り組む必要があります。専門的知識や技能を有するとともに、政策立案・危機管理意識や能力を備えた職員を育成し、併せて、職員の向上心を育むような組織風土を培い、自己啓発研修、職場研修など研修機会の拡大に努めてください。
- 計画実施にあたっては、広く市民に公表し市民の理解と協力を得られるよう、また、事業の実施にあたっては、効率性や緊急性を十分勘案し、健全な財政を維持しながら計画的に実行されるように、市民福祉向上に向けた更なる努力をお願いします。

区 分	氏 名	役 職 名
会長	清 水 男	総社商工会議所会頭
副会長	久保田 厚子	岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科教授
委員	垣野 智	総社市社会福祉協議会会長
委員	守安 信吾	総社市観光協会会長
委員	(水野 三重子)	(前総社市婦人協議会会長)
委員	山口 久子	総社市婦人協議会会長
委員	大月 亮	総社市消防団長
委員	平松 秀昭	総社市コミュニティ連絡協議会会長
委員	(友野 玲子)	(前総社市PTA連合協議会会長)
委員	栢原 修	総社市PTA連合協議会会長
委員	稲井 寛	岡山県立大学情報工学部情報通信工学科教授
委員	小倉 信一郎	山手まちづくり協議会会長
委員	吉富 昭夫	清音まちづくり協議会会長
委員	吉澤 威人	総社吉備路商工会会長
委員	晝田 眞三	
委員	白石 繁	
委員	金岡 良勝	
委員	近藤 理恵	
委員	枝松 孝典	
委員	難波 道子	
委員	角田 順宣	
委員	大角 昭三	